

# 化粧品の安全性評価におけるNAMsの行政活用の国際動向に関するワークショップ

日時:2026年2月19日(木) 14:00~17:00

会場:日本化粧品工業会会議室 (東京都港区虎ノ門 5丁目 1番 5号メトロシティ神谷町 3階)

参加費無料・申込要(申込用URL:<https://forms.office.com/r/9zmbq44RmK>)

会場定員50名・オンライン定員100名 申込〆切:2026年1月30日(金)

主催者:国立医薬品食品衛生研究所 足利太可雄



現在AMED医薬品等規制調和・評価研究開発事業において、「NAMsを用いた医薬品等の安全性評価試験の開発と行政活用に関する研究(代表:足利太可雄)」が行われており、主剤を含む新規医薬部外品のNAMsによる申請の可能性を検討しています。その実現には国際動向の理解が重要であるため、本ワークショップを企画しました。皆様の積極的なご参加をお願いいたします。  
なお、両講演の後、総合討論を予定しています。



講演1 [オンサイト]

Use of animal-free NAMs in safety assessment of cosmetic ingredients: status and challenges

**Prof. Vera Rogiers**

(Vrije Universiteit Brussel, co-chair of the Scientific Committee on Consumer Safety)



講演2 [オンライン]

ICCR's Best Practices for Promoting Next-Generation Risk Assessment of Cosmetic Ingredients

**Dr. Matthew P. Dent**

(Unilever UK, industry co-chair of the International Cooperation on Cosmetics Regulation (ICCR)'s Integrated Strategies for Safety Assessment II Regulator-Industry Joint Working Group)

連絡先:国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部  
足利太可雄 ([takao.ashikaga@nihs.go.jp](mailto:takao.ashikaga@nihs.go.jp))  
神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-26  
TEL: 044-270-6597